

# 笑顔輝く せたっこ通信

あっという間に2月も終わりの日となり、3月を迎えることになりました。3連休の間に4歳児の育てている菜の花がきれいに咲き並び、春の訪れを感じるようになりました。「三寒四温」を繰り返し春がやってきます。

令和8年2月  
大津市立瀬田幼稚園



## 今年も鬼来る？

子どもたちがそれぞれのクラスで節分の話聞き、鬼のお面や豆を入れる三宝などを作り始めた頃に、4歳児からも5歳児からも「鬼って来るん？」「前、鬼来たやん。」と鬼が来るのかどうか、とても気になるようで、「鬼が来たらどうする？」と尋ねると「鬼は外！って豆を投げる！」と昨年のことを思い出しながら話をしていました。そんな頃、地域の人権・生涯学習推進協議会 会長の中谷さんが、もうすぐ節分でしょうと柗の枝を持って来てくださいました。中谷さんは毎年、幼稚園に柗を届けてくださいます。中谷さんが柗を持って来てくださったことと合わせて何故、柗を玄関に飾るのか、邪気を払い無病息災を願った伝統行事である、節分について、もう一度話をしました。そして迎えた節分の日。登園して来ると、七輪や豆に興味深々。まだ、豆を炒っていないけど「いい匂い。」と子ども達が集って来て鼻をククンさせて一生懸命匂いを嗅ごうとしています。子ども達は「今ちょっと匂いがした。」と喜んでいました。



## 【幼稚園のかわいい鬼たち】



「鬼は外～！ 鬼は外～！」 子どもたちが「鬼こうへんやん。」と気にしながらも元気に豆まきを始めました。すると…どこからともなく太鼓の音が…急に静まり返る園庭…やってきたのは3体の鬼です。「やっぱり来たやんか！」と言いながら果敢に豆を投げていました。

鬼もなかなか手ごわく、投げて投げて両手をあげて子ども達の近くまでやってきます。ここでも3クラスの子も一緒に鬼に立ち向かう姿や3歳児を守るような姿も見られました。



## 楽しかった わくわくステージ



一人一人のなりきりや表現を大事にしたお話遊びです。あお組からは「もっと大きい声で言った方がよく聞こえるよ。」とアドバイスをもらいました。

### 【3歳児】

思い思いのお面や身に付けるものを纏い、ステージにやって来ます。「あなたはだ〜れ。」と聞かれると「〇〇を持った〇〇です！」とオリジナリティがあり、毎回違う名前になるのが楽しみでした。



### 【4歳児】

き組忍者は様々な修行を重ね「こころをひとつに」の忍術を磨きあげていきます。クラスの友達と一緒に「忍者になってカラスから巻物を取り返す」というストーリーを共有していききました。自分の表現も楽しい！友達と一緒に楽しい！そして、クラスのみんなと一緒に楽しい！という経験をしました。



### 【5歳児】

これまでの経験を思い出しながら、クラスのみんなでお話を考えることから始めました。自分の役に合った大道具や小道具をつくったり、台詞を考えたり劇遊びが進むと「もっとこうしたほうがいい！」というアイデアが浮かんだり、子どもたちがつくり上げたわくわくステージです。5年生にもわくわくステージを見てもらいました。



この通信は天津市のホームページからも見て頂くことができます。ホームページには瀬田小学校の児童に向けた通信も載せていますので、是非見てくださいね。

